

アンケートの中でいただいた意見を（事務局で）類型化しています。

	パネルディスカッションについての意見	フォーラム全体の意見	これからの地域福祉についての意見
全般的な感想	<p>いろいろな意見が出て参考になりました。 あらかじめ問題点を決めていたのはよかった。役に立つ話は沢山あった。自分なりに考え応用したい。地域問題の提示がありよかった。小生平成14年当時、豊中市より男女共同参画フォーラム実行委員をしていました。皆様頑張っていると感じました。テーマをもう少し狭めればよかったのでは。一部具体的にはあったが、深く具体例で発表する方がベターと思う もっと活発な発言がほしかった。悩みは共有しているのに前進なし。あまりメリットのある議論が無く、ディスカッションになっていない。実行委員の悩みなのか、ディスカッションの方向が見えないと思う。出題者の人数と発表する活動内容の時間的な面、絞って発表すること。質問する方の意見、しっかり理解したうえでしてほしいです。わかりにくかった。皆、話が長い、要点が不明。とりとめがなかった。</p>	<p>毎年楽しみにしています。今後の活動参考にしていきたいと思います。皆よく頑張っていると考えます。細かな学術的な分類整理のあと、最後に現実の問題に触れ課題はここにあるよと言われたが、反対の流れで、問題から解決アイデアへ展開されていくフォーラムを期待したい。福祉委員だけでなく一般の方々にも出席していただけたら。常に考えての問題なのでよくわかりました。これからの活動に役立てたい よかったし、今後の活動の参考になったと思う。私たちの住みたい街になるようにいろんな方々の努力と協力がいかに必要か。今日、資料不足のため、内容がわかりにくかった。資料は出席者にいきわたるようにしてほしい。資料配布が十分できないということは何事か。長い、休憩時間も無い。もう少し具体的に説明してほしい。時間に制限されて納得いくまでにかかず、課題の割に時間がない。</p>	<p>積極的な取り組みが何事についても必要。それぞれの立場で行動していきたい。自分に何ができるか考える機会になった。地道に自分の出来る範囲で活動していけばと思います。実務的課題のテーマを望む。資料不足があった。十分気を付ける事。事務局反省すべき。講師依頼にあたっては川西市の制度・各地の状況を十二分に知らせておいてください。各地域の問題点を集約しておき、その事例を発表する会にしてほしい。</p>
主に講演内容	<p>もっとお話しを伺いたいです。答の中で先生が言われた、先の見えない結果が出ない状態では即決をしようと思わないという話は身にたまされる話でした。講演内容となんだか質問とが食い違っていたように思う。実際的なお話でどこにでもある問題で具体的な対策はそれぞれ考える必要ありと感じた。焦点が明確でなかった。講師のお話とパネルディスカッションの中身との会話があり本日の話がどの程度プラスになったか不明 わかりにくかった。</p>	<p>講演内容の時間をもう少し長くしてほしい。松澤先生のゆっくりしながらの説得力のある講義が大変わかりやすかった。先生の話はとてもわかりやすく安心して聞くことができました。大学教授という固いイメージもなくよかった。なんとなく講座の内容は分かったような気がする。講演内容はよく整理されたもので、考え方として大いに活用させていただくつもりです。講演を聞いて初心に戻り、私のできることをもう一度考えたいです。とても勉強になり学生に戻った気分でした。松澤先生の講演が資料に基づき具体的にわかりやすく説明され大変よかった。見守りネットワークの推進の大切さがよく理解できた。今までの講演会より一歩進んでいるような、現在に合せていることが多く。図で示されておりわかりやすい。理解していく。講演と地域の具体的な問題とを合わせたのは、先生の解説もありわかりやすかった。自分にとっては空論に近い話で、日常活動をしている自分にとって参考になるところはなかった。現場で活動している者をターゲットに、活動の参考になる話をしてほしい。講演の部分は内容的に難しかったがパネルディスカッションの事例をもとにした応答に少し具体的に理解できた。(「これからの地域福祉について」の意見なし)</p>	<p>永年福祉に関わってきた人たちがわかり易く、正しく、楽しくどう伝えて行けるのか一番大切なことだと思います。役員が活動することに優しく、明るく務められることを期待したい。認知症家族は大変苦労されていると思います。ご本人にとっても不安な思いを持っておられるし、その不安をどう解決させてあげればよいのか皆、悩んでいると思います。地域での協力をどうしていけばいいの。家族と地域のつながりをうまく行けないか悩んでいます。少子高齢化、多死社会に向けての地域、家庭、行政等の連携がますます求められる。特に高齢者の認知症、介護、見守り対策。健康長寿社会をつくるためには、公民館活動の活性化がますます求められる。グループ活動、自立活動等にかかれた公民館であるべきです。高齢者と子ども達のサークル活動をもっと多くすべきだと思います。今日の講演で今後は楽しく活動していきたいと思った。それを続けていくことが大切と思った。もっともっと地域の人にいろいろな活動していることを知ってほしいと思います。情報を共有しないと前には進めないと。地域福祉の現状がなかなか把握しづらいことが何かの問題がいざ起きたとき、どうなるのだろうかという感じがります。個人情報大切さはわかりますが、民生委員には公にしては良いと制度化してほしいです。守秘義務の重要性は理解しているつもりですが本当に必要な情報は取り巻く諸団体やお世話していただく個人や役員で共有することによってより生かせると感じることが多々あります。民生委員を受けてまだ1年も経っていませんので手さぐりの状態で日々勉強させていただいています。今日の先生のお話もお聞きして一つ一つ進んでいきたいです。高齢化が進んでわが身が精一杯の中で、関係が希薄化しているのでつながりは難しいと思うが、それでもがんばっていかないと。民生委員の活動として関係グループとの会合を内容的に報告すべき。活動的には報告できないと内容は殆ど教えてもらえないのが現状。松澤先生の考慮は同じと感じるし非常に参考になりました。地域で問題があったり情報を得た時、今まで習得した(学びとった)ことを鑑み適格に行動、処理をしていく能力、判断力が必要。人と人とのつながり、絆の大切さをさらに感じました。情報発信伝達をどうするか(プライバシーの問題があり)私たち地域でも考えさせられます。講演の内容を理解し地域で活動したい。各サロンで、その場に応じた話題を出してつながりを強められたらよいと思いました。自分たちの活動を辛口に評価できればよいと思いました。安否確認等で地域の方々への声掛け等をする。認知症等の対応や徘徊のことが本当に心配。個人情報の問題がネックになることもある。警察の垣根を越えて伝える方法はないのか。地域力と集大成することをめざして着実に一步一步前進するよう努力しなければと思うしです。常に挨拶から始まると思います。年齢を超えて始めてほしい。民生委員と自治会が密にし福祉の方で役所の人々と共に情報交換していこうと思う。高齢化に伴い認知症が増加する。認知症になった者に対して政策が講じられているが認知症予防に軸足を置くべきである。東京都杉並区では平成14～20年に4プログラムの実験に効果をえた。それを機に3プログラムについて継続実施している。経済的効果も大きい。地域性に合わせた福祉を考えることが大切。高齢者向けの講演会等、大いに場を提供してほしい。高齢者が増えていく中子どもは勤めがあり、公共の施設も限りがあり有料の所には資金繰りがなかなか感じている。ボランティアのやり方をどうすべきか考えさせられました。高齢化社会に対応する「支援」「見守り」体制の構築。情報について深く反省。とても大切なことですので地域で深めていきたい全体をみてとても勉強になりました。地域福祉社会の世の中のお世話しよとする人が絶対的に少ない。ケア会議、地域での情報の収集と交換とその有効活用。福祉委員としての意識が大切である。まず、自分の住まいの地域で向こう三軒両隣に話が見える状況を作る。挨拶する。出来るだけ地域のグループや催しに積極的に参加する。自ら楽しく活動する。気づいていながらそれ以上進むのが難しく思います。「入っていない」という気持ちが強く感じられそれ以上進めない時があり相手の人の気持ちを柔軟に持つていくのが難しい。</p>
地域実践に結びつけて	<p>ラジオ体操、ふれあい会、防災会などに民生委員が小学生を動員して高齢者や一般のおとなと触れ合っている。サロンの相談事業に相談される方はまずありません。民生委員に個々に相談がありますので問題ないと思います。地域の中に入るには仕組みづくりで対応しなければと思う。地域内での楽しいサロン行事を考えて行きたい。認知症について勉強会の大切さに力を入れる。悩み相談は一心、本人の相談が見通しが立つことがわからないと相談事をこなす専門の係が必要。身近な現実や情報を提示しながら問題解決に向けてようとされる意向が感じられた。支援の必要な人をどうして集いの場に参加してもらおうか悩ましい課題だったが回答は得られなかった。個人情報をいかに有効に使うかコミュニケーションを図るかが大変重要だと思います。障害者作業所への下請け作業、官公庁と障害者作業所の外、販売先をもっと増やして自主製品の生産をもっと増やしてほしい。徘徊連絡網を十分理解していない地域があったようです。110番も連絡すれば全国版で捜してもらえます。人材育成の必要性には共感を覚えた。けやき坂の事例をもっと他地区の情報を交え対処したらよい。</p>	<p>自分の身の回りで見守りの必要ある人とがあったとき、福祉に関心が持てる。警察は地域を外して連携し、警察も探してほしいと思った。高齢者対策(特に認知症対策に重点)。相談内容はどの地域も同じ、それだけ難しい。こどもとおとなのつながりを作ろうと思います。地域活動の点検、見直しに活かしたい。今の大和地区は自治会を中心によくまとまり、防災、障がい等ボランティアも多く安心だ。地域とのかかわりをもっともらうことやサロン活動をしていくことが大切。楽しいことやイベントを続ける。障がい者作業所の工賃を10万円にあげてほしい。障がい者作業所でやる仕事をもっと増やしてほしい。右記、の「地域実践に結びつけて」の「これからの地域福祉について」の意見です</p>	
地域性	<p>各エリアによって違うのだろうなと感じた。どの地域も同じな悩みがあるのだなと思いました。市内の問題点は自分の地域にあてはまると思いました。川西市の地域において、年齢において問題発生が異なるような感じがしました。地域の違いがあっても抱える問題は一緒のように感じます。問題解決の良策がないのも同じですね。どの地域も同じ悩みをもっているんだなと思いました。</p>	<p>他地域の様子がわかりよかった。有意義だと思うが、各委員会の取組みを聞いてみたいと思う 他地域の様子がわかりました。福祉のことは本当に難しい。先生のお話参考になりました。専門職、医者も地区のことも何年も前から話題になるのですが、会合もありますなかなか進まない。(「これからの地域福祉について」の意見なし)</p>	
人材	<p>ボランティアから入ってもらって人材育成をしたらと思う意見が興味ある。地域の特性を知るのがよいというアドバイスをもらった。携帯、ネットで活用した仲間を作る。人材育成、認知症問題等具体的な活動なら理解できる。各市で情報連携が必要。子ども高齢者とのコミュニケーションと取組み。どの地域でも後継者の問題があるなど感じています(高齢者の役員で運営している)。人材育成の難しさについて、毎年考えさせられる問題だと思う。若い方の参加が無いのは同じで頭が痛いところです</p>	<p>高齢者や子育て世代も忙しくて、福祉委員は難しいとのことですが、日本全国人口が多い団塊の世代が地域で活動してもらおうアタックしてみてもは。子育て中の時は、先輩に助けられたので、自分がこの年代に入ったのでお返しを若い方になければと、地域見守りの民生委員をお受けしたのですが大変なことだと思いました。</p> <p>以下、の「人材」の「これからの地域福祉について」の意見です</p>	